

福島県立ふくしま医療センターこころの杜の特徴について

1 新病院の名称について

杜は、樹木に包まれ、清らかな安心できる場所を連想させます。そこに多くの人々が集い、明るく、開放的な環境の中で、患者様に寄りそった医療を提供することをイメージした名称です。

<新病院エントランス>



2 児童思春期医療の機能強化

(1) 外来

一般外来と入り口・診察室・会計を完全分離。

(2) 入院

- ① 全室個室化することで、プライバシーに配慮し、療養環境を向上。
- ② 学習室・Wifiを設置し、学習環境を整備することで在籍校への復帰を支援。

③ 学習ボランティアとして退職教員等の支援を想定。

④ 小さな子どもの療養に対応するため、親子で入院できる病室を確保。

<児童思春期病棟>



<一般病室イメージ>



3 医療観察法病棟の新設

以下の多重のセキュリティを確保。

- ① 病棟入り口の解錠に静脈認証、ゲート型金属探知機の設置、常駐警備員（24時間）の配置
- ② 病棟内に監視カメラの設置
- ③ 病室に2重サッシや強化ガラスの窓を設置
- ④ 各病室の窓に機械警備の導入

4 感染症対応病床の確保

陰圧装置を完備した病室（1床）と一部病室（重症慢性期：5床）を感染症対応病床として整備。